



日赤奉仕団のボランティアと一緒にゴミを集める児童

きれいな海を自分たちの手で

■海岸清掃／片浜小学校

片浜小学校の全児童34人が6月10日、片浜海岸で清掃活動を行いました。

海岸清掃は毎年、青少年赤十字活動(JRC)の一環として、本格的な夏を前に行われています。

汗ばむほどの陽気となった当日、児童らは日赤奉仕団のボランティア23人と共に、ビニール袋がいっぱいになるまで一生懸命にゴミを集めました。

6年生の児童は、「海をきれいにし、地域の人にも、海に来る人にも喜んでほしい」と話してくれました。

弥生時代にタイムスリップ

■火起こし体験／勝間田小学校

6月10日、勝間田小学校6年生の児童31人を対象に、古代体験授業が開かれました。

これは、児童に地域の歴史を学んでもらおうと市が開いたものです。児童らは、学芸員の松下善和さんから勝間田地区周辺の遺跡や史跡、発見された歴史的にも貴重な土器や石器の話聞いた後、弥生時代の火起こしを体験しました。

昔の道具を使った火種づくりに苦戦するなど、児童たちは、「現代に生まれて良かった」と話していました。



弥生時代の火起こしを体験する6年生の児童

全国大会で3位入賞

■第64回全日本実業柔道団体対抗大会

東海翔柔クラブに所属する曾根由多さん(落居)が、厚生労働大臣杯争奪第64回全日本実業柔道団体対抗大会で3位入賞し、6月24日、他の選手と共に市長に喜びを報告しました。

クラブは、東海大翔洋高校の卒業生らで結成され、曾根さんは、監督兼選手として大会に出場しました。

曾根さんは「体力の衰えを隠せなかったが、長く柔道を続けようという思いで結成したチームで、入賞できてうれしい」と話しました。



市長に喜びを報告する曾根さん(左)



家庭でのエコ活動推進に意欲を燃やす児童たち

目指せ、家族のエコリーダー

■アース・キッズチャレンジ／坂部小学校

6月24日、坂部小学校の4年生児童18人が、のキックオフイベントに参加しました。

アース・キッズチャレンジは、子どもたちが中心となって、家庭で地球温暖化防止に取り組む活動です。児童らは自宅の水道量や電気を基に、毎日の生活で無駄を省くための作戦を考えました。

参加した児童は、「もっと資源を大切にしたい」と話し、省エネ活動の大切さや楽しさを学びました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。
あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

ズームイン!
カシャ!!



大豊株式会社の葉山社長からマスコットキーを受け取る市長

安全安心なまちづくりのために

■青色防犯パトロール車寄贈

大豊株式会社(波津)が、設立20周年を記念した社会貢献活動の一環として、青色防犯パトロール車を市へ寄贈しました。

6月25日には、寄贈式が市役所棟原庁舎で行われ、葉山勝之社長は、「地域の皆さんのおかげで20周年を迎えることができた。より安全安心で住みやすいまちにしたい」と話しました。

市長は「安全安心な地域づくりに使わせていただきます」と感謝の言葉を述べ、葉山社長に感謝状を贈りました。

市では、小学生の下校時間での巡回など、防犯活動に活用していきます。

消防救助技術、日本一を目指して

■消防救助技術静岡県大会

6月4日、静岡県消防学校で消防救助技術を競う県大会が行われ、吉田町牧之原市広域施設組合消防本部の尾崎友哉さん(静波)が出場しました。

尾崎消防士は、ロープブリッジ渡過の部を圧倒的な強さで優勝し、8月に千葉県消防学校で行われる全国大会への切符を手に入れました。

尾崎消防士は、「本番では県大会のタイムを上回りたい。地域の皆さんに誇りに思ってもらえるよう頑張りたいです」と、意気込みを語りました。



全国大会に向けて訓練を積む尾崎消防士



第31回静岡県河川協会会長表彰を受賞した桑田さん

子どもの頃に見た美しい川の景色を今に

■第31回静岡県河川協会会長表彰受賞

坂口谷川の再生活動に長年にわたって取り組んでいる桑田雅史さん(細江)が、6月3日、静岡県河川協会の第31回静岡県河川協会会長表彰を受賞しました。

地元の有志と共に、河川の美化や堤防の草刈りなどを続けて約20年。荒れ果てていた坂口谷川は今、一面に美しい緑の芝生が広がり、秋には1万本の彼岸花が咲き誇る地域の名所になりました。

桑田さんは、「全国の名所に負けない、元気なまちをつくりたい」と力強く語っていました。